

区分	チェック項目	事業所評価	保護者評価			評価を踏まえた改善・対策	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	はい	23人	いいえ		
			どちらでもない		わからない	1人	
			十分に確保されている。				
	2	職員の適切な配置	はい	23人	いいえ		
		どちらでもない		わからない	1人		
		適切に配置されていると思う。					
3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	職員から気になる場所の申し出があるとその都度話し合い、手を加え、利用児童の安全に気を付けている。	はい	23人	いいえ		
			どちらでもない		わからない	1人	
		出来ていると思う。					
4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	コロナ感染にも気を付けているので、毎日清潔にしている。こまめに消毒等もやっている。	はい	21人	いいえ		
			どちらでもない		わからない		
		活動に合っている。確保されていると思う。					
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			コロナ禍が過ぎれば、以前のような全体ミーティングがすぐにでも開催できる。				
2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者は入っていない。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	コロナ感染による対面での研修がなかなか確保できず、代わりにリモート(Zoom等)を利用しての研修に参加した。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			今現在はコロナ禍でないが、外部研修があれば積極的に参加する準備は出来ている。				
適切な支援提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			契約時に保護者から聞き取りを行う。何か変化があれば、その都度保護者から相談を受け、職員で情報共有している。				
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	はい	24人	いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			個別計画を作成したものを確認している。				
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画をしっかりと立てている。	はい	24人	いいえ	
				どちらでもない		わからない	
			モニタリングの時に見せてもらっている。				
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個人の支援と集団の中での支援を行っている。	はい	24人	いいえ	
				どちらでもない		わからない	
		適切に実施されていると思う。					
5	チーム全体での活動プログラムの立案	児発管と管理者を中心に、スタッフ全員で話し合う。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			現場担当からの立案を吸い上げ、良いものをどんどん採用する。				
6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	コロナ禍で屋外活動が難しかったが、屋内で出来る工作や、砂浜(海)、庭などで遊んだ。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			事前にプログラムを作り計画を立てるが、コロナ禍で計画がうまくいかないこともあったが、その時の代替案を考えて支援できたと思う。				
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	基本的な流れは変えない様にして、プログラムをかえている。	はい	24人	いいえ		
			どちらでもない		わからない		
		送迎時に聞いたり、ブログで様子がわかる。					
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝のミーティングで確認している。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			業務日報やホワイトボードも利用しながら確認を更に徹底していく。				
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎等に時間を取られ、その日のうちに振り返りが出来ない場合は、次の日の朝のミーティングで共有している。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援終了後、その日の記録を行う。その振り返りは、次の日の朝のミーティングで行っている。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			業務日報として、その日のうちにあった出来事など、何でも記録に残している。				
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	相談員を中心に定期的に行われている。児発管や職員が交代で出席している。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			モニタリングが行われる前に、スタッフ間での話し合いを持っている。(その児童について)				
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			コロナ禍によりオンラインでの話し合いになった時でも、職員が参加できる体制を整えている。				
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	はい		いいえ		
				どちらでもない		わからない	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援員を中心に、支援会議を行っている。保護者、学校、事業所の橋渡しとして情報を吸い上げ、みんなで共有出来ていると思う。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	父兄や本人、相談員との間では頻繁にやり取りしているが、学校のコーディネーターとの連携は薄い。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
			千歩からの呼びかけがあればいつでも対応できるよう心掛けている。				
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との連携は、児童の受診日に保護者へ同行し話し合いをすることがある。研修については、コロナでリモート研修のみだったのでそれに参加していた。	はい		いいえ		
			どちらでもない		わからない		
7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	以前は積極的に事前に保育園へ連絡をとり、計画を立て訪問し交流を持っていたが、コロナ感染拡大に伴い、交流を持つことが出来なかった。	はい	8人	いいえ		
			どちらでもない	5人	わからない	11人	
			現在の状況(コロナ禍)では、こちらら保育園幼稚園側も交流については声をあげることが出来なかった。いい方法がないか検討中。				



	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ感染拡大に伴い、その他大勢の中への行事に参加できなかった。(行事事態中止になることが多かった。)	はい どちらでもない		いいえ わからない		コロナ禍ではとても難しい。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	児発管・管理者を中心に丁寧に説明を行っている。	はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		三密にならないように、時間や場所を考えて行えたと思う。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリングや支援会議等で、支援内容を確認している。	はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		丁寧に話してもらえた。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	事業所でのペアトレは行っていないが、送迎時(対面)や、電話等で相談を受けたりしている。	はい どちらでもない	21人	いいえ わからない	3人	コロナ感染拡大の中ではペアトレ出来なくてもしょうがないと思う。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	電話や連絡帳だけでなく、LINEも活用して連絡を取り合っている。	はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		コロナ禍になり、これまで以上に保護者と連絡を取り合うようになった。このまま継続していきたい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から相談有との連絡を受け、児童のいない時間を指定して来所してもらう。感染予防第一でお話を聞く。	はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		なんでも相談しやすい環境です。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ自粛も多い中、開催することはできなかった。	はい どちらでもない	20人	いいえ わからない	4人	コロナ禍ではしょうがない。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	日頃から連絡を取り合っているため、何かあった場合はすぐに連絡がとれる。何でも相談しやすい話しやすい関係を作り迅速かつ適切な対応を心がけている。	はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		適切に対応されている。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童にはなるべく顔を見て目線を合わせ、認識してもらう。保護者との関係は、とにかく保護者の想いをきかせてもらうところから意思疎通を図っていく。	はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		兎に角、保護者との連絡をこまめにとって、自宅での様子などを確認し意思疎通を図っていた。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、活動内容や注意事項、カレンダーをお便りで配布している。(利用予定日にシールを貼っている。)	はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		お便りやブログで確認している。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個別ファイルの保管は鍵付き保管庫へ。ブログ等への写真掲載には保護者の同意書を必ずとっている。	はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		出来ていると思う。
非常時の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員間では出来ているが、保護者への周知徹底まではまだ足りていない。	はい どちらでもない	13人	いいえ わからない	6人	コロナ禍により、感染対応マニュアルを周知徹底、肌で感じるようになった。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に、1年に2回は開催するようにしている。	はい どちらでもない	20人	いいえ わからない	4人	事業所内での小さな訓練は今後も定期的に開催が必要と話し合っている。
	3	虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	コロナ禍では対面研修はほとんどなく、リモートでの研修に交互に参加。その後、事業所での振り返りを行った。	はい どちらでもない		いいえ わからない		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束はほぼないに等しいが、いざとゆうときの為、契約時に説明はしているが、十分に説明できているかどうかはわからない。(実際に身体拘束をしたことがないので。)	はい どちらでもない		いいえ わからない		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書に基づくゆうより、保護者からのアセスにより、アレルギーのある子供への配慮はしている。	はい どちらでもない		いいえ わからない		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	小さなことでも気づいたことはヒヤリハットを作成し共有するようにしている。	はい どちらでもない		いいえ わからない		
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか		はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		来所時に、元気いっぱい挨拶と笑顔を見ると、楽しみにしてくれているのかなと思う。
	2	事業所の支援に満足しているか		はい どちらでもない	24人	いいえ わからない		保育園より行きたがるとの声もありうれしく思う。今後も安全第一に事業所運営していきたい。